

報アノ

平成28年12月1日
第99号
栗山町開拓記念館

馬頭さん・社日さん・お地蔵さん

往時、市街地の外れや農村地帯の道路脇には必ずと言っていい程地蔵・馬頭・社日などが祀られていて人々の心の寄り所として信仰を集め、又親しみを込めて『○○さん』と呼ばれていた。

登下校する子供達は、そこが待ち合わせの場所であったり、近くの野の花を摘んで捧げ、ペコリと頭を下げる…

そんな光景が普通に見られた。
現在は道路の改良や土地区画変更などによりその多くは神社や公民館の敷地に移設されているがいづれはそれも消滅するのではないかと危惧されている。何時までも残したい日本の原風景と言える。

◎馬頭観音



六観音（千手観音、十一面観音など）の一つで馬頭観世音菩薩というのが正式名。

憤怒の表情で魔障や煩惱を馬口の様に食い尽くして家生を救済すると言われ、日本では奈良時代以降に牛馬の守護神として信仰されてきた。

近世になると、牛馬が農耕や運搬等に欠く事ができない重要な家畜となり、その霊を供養する為に石碑等が建立されていた。

栗山町内には左記のとおり、観音像又は、文字だけの石塔を含め二十一ヶ所にある。

◎鳩山・桜（佐倉）神社前

・観音像 昭和二十七年十二月建立

◎雨煙別・証継寺前

・観音像 昭和二十一年十一月建立

◎北学田神社境内（大小二基あり）

・大 石塔のみ 建立月日なし
・小 石塔のみ 昭和五年十月建立

◎旧桜山小学校前

・観音像 大正十一年建立

◎桜山第二公民館前

・観音像 大正十四年九月建立

◎杵臼第一公民館前

・観音像 大正十四年十月建立

◎日出・法隆寺境内

・観音像 大正十一年九月建立

◎大井分・考恩寺横空地

・観音像 建立月日なし

◎円山神社境内

・石塔のみ 昭和二十九年十月建立

◎円山神社（個人）境内

・石塔のみ 建立月日なし

◎滝下・八幡神社境内

・石塔のみ 大正十四年三月建立

◎共和公民館前

・観音像 大正十年十一月建立

◎富士第二公民館前

・観音像 大正十四年九月建立

◎角田・方田寺境内（四基）

・観音像 明治四十三年六月建立

・観音像 建立月日なし

・石塔のみ 昭和五十五年七月建立

・石塔のみ 昭和九年六月建立

◎大井分・考恩寺境内

・観音像 大正十二年五月建立

・観音像 平成二十一年十二月、栗山墓園より移設

◎栗山寺境内（四基）

・観音像 昭和三十一年八月建立

・観音像 三基あるも建立月日等なし

◎栗山公園・動物園裏

・石塔のみ 昭和四年八月建立のもの、昭和五十九年現在地に移設

◎緑丘神社境内

・観音像 昭和四年五月建立

◎湯地第三公民館

・観音像 建立月日なし

◎桜丘・法蔵寺前

・観音像 大正十五年十二月建立

◎御大師山八十八カ所霊場内（三基）

・巡礼コース入口

・石塔のみ 大正十四年五月建立

・第六十八番横

・観音像 建立月日なし

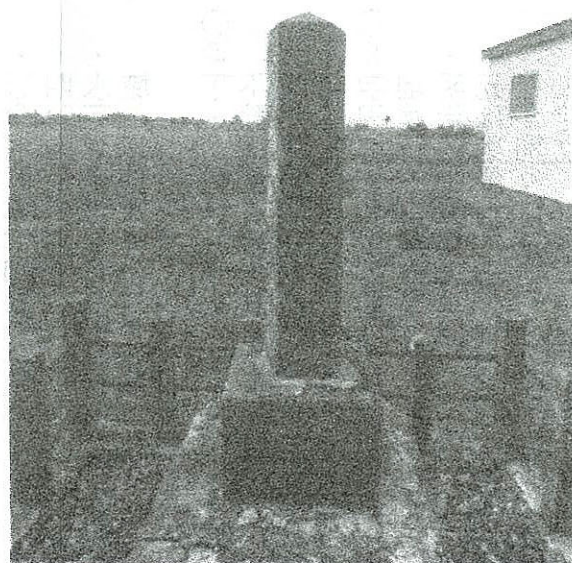
・第七十番横

・石塔のみ 昭和四十一年三月建立

・第七十八番横

・石塔のみ 昭和十一年九月建立

◎社日（神社）



社日とは中国の習慣に由来し雑節（節分・彼岸・土用など）の一つ。生まれた土地の守護神・産土神（うぶすなかみ）を祀る日で年二回ある。春分と秋分に最も近い戌（つちのえ）の日が社日となり春には五穀の種を供えて豊作を祈願し、秋にはその年の収穫に感謝する行事として今でも地域の大切な節目の日となっている。

社（やしろ）は無く五角の石柱に天照大神を中心として、五穀豊穡・建康・火・水等に関する五柱の神名が記されている。

又、呼び名も社日様、五社様、おいげ様、五角様などその地方の呼方がある。記されている神名は次のとおりである。

◎アマテラスオオミカミ（天照皇大神・天照大神・天照大御神）

日本の神々の最高神といわれる。天皇家の祖先で、伊勢神宮内宮の祭神

◎オオムナチノミコト（大己貴神・大名己貴大神・大名貴命）

国造神、農業・商業神、素戔鳴命の六世孫、大国主命の別名ともいわれている。

○アマノオシホミミノカミ（天忍穗耳大神、天忍穗耳神）

天照大神の子供、稲穂の神・農業の神

○アマノホヒノカミ（天穂日神）

天照大神の子供、稲穂の神・農業の神

○オオクニヌシノミコト（大国主大神・大国主神・大国主命）

天照大神系に国を譲り、出雲大社の祭神となる。

○スクナヒコナノカミ（少彦名神・少名彦命・少名彦神・少名彦名大神・少名彦那大神）

大国主と国造りした神、医薬・温泉・酒の神

○ハニヤスヒメノミコト（埴安姫大神・埴安姫命・埴安命・埴安姫神）

開拓の神

○ヒコホホデミノミコト（彦火々出見大神・彦火々見大神・彦火々出基命）

山幸彦、神武天皇の祖父

○ホンダワケノミコト（譽田別命）

皇統十五代応神天皇の事で、八幡神宮

○トヨウケヒメノオオカミ（豊受姫大神・豊受姫命・豊受大神）

イザナギノミコトとイザナミノミコトの子供、保食神で伊勢神宮外宮の祭神

○サルタヒコノミコト（猿田彦神）

夫孫降臨時に道案内したといわれる。

○ウガノミタマノカミ（稻倉魂神・稻倉魂命）

五穀を司る神・狐神・稻荷神社の祭神

栗山町内では左記のとおり十五ヶ所で確認できる。

○北学田神社境内

・天照大神、大己貴命、稻倉魂命、少名彦命、埴安姫命
・大正元年十月建立

○旧桜山小学校前

・天照大神、天忍穗耳大神、彦火々見大神、大己貴大神、少名彦名大神
・大正十二年九月建立

○桜山第二公民館横

・天照大神、大己貴大神、天忍穗耳大神、彦火々見大神、少名彦名大神
・昭和四年九月建立

○中里会館横

・天照大神、大己貴命、少彦名命、稻倉魂命、譽田別命
・建立月日なし

○富士・社日神社

・天照大神、彦火々出見神、天忍穗耳大神、大己貴大神、少名彦名大神

・明治四十一年九月建立

○三日月公民館横

・天照大神、埴安姫大神、大国主大神、豊受姫大神、少名彦那大神
・大正六年九月建立

○阿野呂第二公民館前

・天照大神、大己貴命、稻倉魂命、少名彦命、埴安姫命
・明治三十七年二月建立

○南学田神社境内

・天照大神、大己貴命、少名彦命、埴安姫命
・明治三十年九月建立

○御園神社奥院横

・天照大神、豊受姫命、猿田彦命、大己貴命、埴安命
・大正元年九月建立

○大井分公民館横

・天照大神、大己貴命、埴安姫命、少名彦命、稻倉魂命
・明治二十八年三月建立

○旭台第五公民館横

・天照大神、少名彦命、彦火々出基命、大己貴命、天忍穗耳命
・大正十四年九月建立

○杵臼神社奥院横

・天照大神、天忍穗耳大神、彦火々出見大神、大己貴大神、少名彦名大神
・建立月日なし

○湯地神社境内

・天照大神、天忍穗耳大神、彦火々出見大神、大己貴大神、少名彦名大神
・建立月日なし

○森公民館前

・天照大神、大国主神、埴安姫神、少名彦神、猿田彦神
・昭和三年四月建立

○鳩山・桜（佐倉）神社境内

・天照大神、天忍穗耳大神、彦火々出見大神、少名彦名大神、大己貴大神
・大正五年九月建立

○地藏

○地藏菩薩、不動明王

・お地藏さんは、やさしい慈悲の顔で道端にあり、子供の守り神と信じられていて、よく子供が喜ぶお菓子などが供えられている。
・お不動さんは、すべての悪と煩惱をおさえ生あるものをすくう。火災や水害などから人々を救うため忿怒の姿をして悪にたち向う。地域の守護神。

○雨煙別・証継寺前

・地藏尊、御堂あり
・建立月日なし
・近くの住民が子供を夭折するので、供養のため建立した。その後、子宝に恵まれた。

○富士・富山神社横

・地藏尊、御堂あり
・明治四十三年建立
・二人の息子を事故で亡くした人が、自宅の敷地に建立したものを現在地に移設

○富士第二公民館前

・不動明王、御堂なし
・昭和三十五年建立
・この近くで火災が続いたので、有志二人が鎮魂のため建立した。

○不動の滝構内

・不動明王、御堂あり
・明治三十八年建立
・借地人同志によって初め滝の落口の岩窟に安置。その後、現位置に移設。不動竜神、童子も安置。

○阿野呂・南学田境界

・地藏尊、御堂あり
・明治三十二年建立
・夕張川の大氾濫で犠牲になった人達の永代供養のため両部落共同で建立したもの。

○共和四号線道路沿

・延命地藏尊、御堂あり
・明治四十年建立
・水死や焼死した子供達の冥福と、地域の守り本尊として建立。

○滝下・八幡神社境内

・不動明王、御堂あり
・建立月日、謂れなど不明

○北学田第一公民館前

・地藏尊、御堂あり
・明治四十五年頃建立
・元は雨煙別学田神社があつたが、神社が別々に建てられたのでその跡地に建立。

○その他、泣く木跡地には阿弥陀如来（御堂あり）、桜丘駐車帯には御堂の中に鉄製で金メッキの観音像があるが詳細は不明である。

又、角田国道交差点に昭和五十一年に、創立、五十周年記念の夕張信用金庫が建立した交通安全祈願の観音像が高い台座の上で行き交う車を見守っている。

この他にも個人でも自宅敷地などに安置し、日々家族の安全や世の平和などを祈願していると思われる。

栗山町開拓記念館 研究員 出南 紘
栗山町教育委員会 発行